

インタビュー

被害者を出さないために全力を尽くします

振り込め詐欺の被害が多発しているため、知多信用金庫でも「お客さまを被害に遭わせない」という意識を持ち、さまざまな取り組みを行っています。

被害が多い高齢者に対しては、チラシなどを利用して窓口係・渉外係が注意喚起をしています。その他に、振り込め詐欺の情報を支店間で共有、郊外ATMへの立ち寄り警戒、ATMの操作画面に「還付金詐欺」に対する注意喚起の表示を大きく目立たせるなど被害防止に努めています。心配なことがありましたら、当金庫にお気軽にご相談ください。



知多信用金庫
専務理事
齋藤さん

振り込め詐欺のことを、みんなで考えよう

最近、高齢者が被害に遭う振り込め詐欺が新聞やニュースにぎわっています。阿久比団地は高齢化率が高いので、長生会の皆さんに詐欺への意識を高めてもらおうと思い、振り込め詐欺防止の講演会を行いました。警察の方から良い話が聞け、意識を高めてもらえたのではないかと思います。参加者が今回のことを家族や友人と話すなどして、地区全体に防止の意識が広がるとうれしいです。

ぜひ、お年寄りだけでなく若い人たちにもこういった話を聞いてもらい、協力して振り込め詐欺を見逃さない地域づくりができるとうれしいと思います。



阿久比団地
長生会会長
天木さん

被害者が自分の親だったら。勇気を出して声を掛けて

町内のスーパーでATMの順番待ちをしていた時、携帯電話を片手に大きな声で話しながら、操作に戸惑うお年寄りの男性がいたので声を掛けました。町から医療費還付の電話があったと言うその方の説明が不審で、詐欺を疑いました。周りに居合わせた方が教えてくれた番号で、役場に確認すると偽電話だと発覚しました。被害に遭わず、ほっとしている男性を見て勇気を出して声を掛けて良かったと思いました。

振り込め詐欺なんて、自分には関係ないと思っていたから驚きました。自分もいつ被害者になるか分からないと思うと怖いんです。



半田警察署から
感謝状を贈られた
倉島さん

振り込め詐欺の被害に遭わないために

振り込め詐欺の予防策は多くありますが、被害を防ぐ切り札は、『人と人の絆』です。ぜひ、家族でこまめに連絡を取り合うようにしてください。そして、日ごろから、一人一人が家族や友人、地域の方に相談できる人間関係を築くように心掛けましょう。

しかし、詐欺の手口が巧妙化しており、一人で被害を防ぐことは困難です。「自分は大丈夫」と油断せず、高齢者はもちろん、家族や周りの人たちも必要な情報を集め、知識を付け、「家族の目」「地域の目」で関わりのある高齢者をさりげなく見守りましょう。電話でお金の話が出たら、すぐ行動に移さず、「待てよ」と一呼吸おき、家族や友人、または警察や役場などに相談するようにしてください。困ったときに相談に乗ってくれる人はあなたのそばにいます。



毎日話せば被害は防げる